

兵庫県のに漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 3号)

神戸市沿岸の東部域で小型珪藻のスケルトネマが多く発生しており、その海域の表層ではリンがやや低い値を示しましたが、窒素は概ね5~6  $\mu\text{g at / L}$ の値でした。それ以外の海域においては全般に珪藻は少なく、窒素は一部を除き4~5  $\mu\text{g at / L}$ となっています。

(水温) 神戸地先は塩屋以東で11.4~11.7℃、滝の茶屋以西で概ね12.0℃で平均11.7℃。神戸沖は平均11.9℃、東浦地先は平均12.0℃。いずれの海域においても平年と比較し約2.0℃高い。

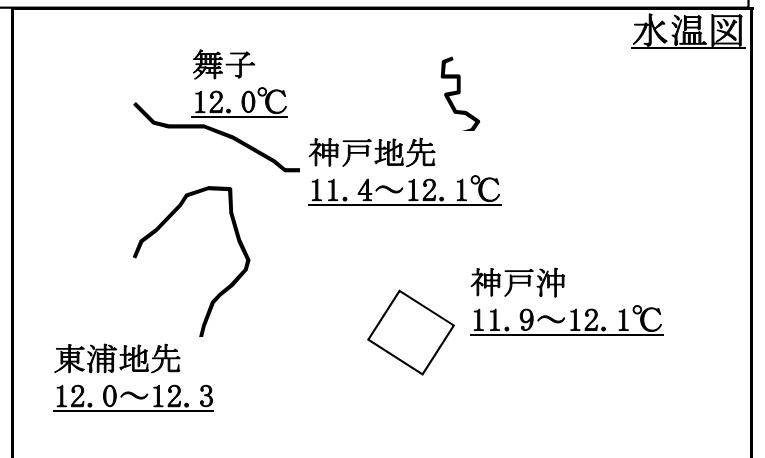
(塩分) 神戸地先：塩屋以東で31.62~31.89psu、滝の茶屋以西で32.03~32.07psu。神戸沖：31.93~32.11psu。東浦地先：32.07~32.31psu。

(栄養塩、珪藻) 神戸地先では塩屋以東でスケルトネマの大量発生(海水1mlあたり3000~5000細胞)が確認されるが、窒素は駒ヶ林を除き4~6  $\mu\text{g at / L}$ であった。神戸沖では北角(調査点2-4)でスケルトネマがやや多かったが、それ以外の地点および淡路東浦においてはコシノディスカスが散見される程度で珪藻の発生量は全般に少ない状況。地先と神戸沖の中間地点にあたる調査点2-6の表層では、栄養塩(窒素・リンとも)が著しく低く強い赤潮の海水が見られていることもあり、気象条件や潮流により今後スケルトネマの増殖や拡散の可能性が考えられますので、動向が注視されます。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	14.6	11.7	9.8	8.3
	窒素	9.1	5.3	8.3	4.0
	リン	0.51	0.35	0.40	0.17
神戸沖	水温	15.2	11.9	9.9	9.0
	窒素	7.2	4.2	4.2	4.3
	リン	0.60	0.42	0.33	0.35
東浦地先	水温	15.3	12.0	10.2	9.6
	窒素	7.5	4.8	4.1	4.1
	リン	0.58	0.47	0.40	0.41

(12/25)

(1/29)



栄養塩 (窒素) 図

平成31年 1月21日調査

上げ潮 (明石海峡：西流)

調査時間； 8:04~10:57

